

CMS 5802—02

タイミング・リピーター 02

取扱説明書

明星電気株式会社

目 次

1. 概 要	1
2. 構 成	1
3. 系 統 図	2
4. 外 観 図	3
5. ファンクションコード	4
6. 動作説明	4
7. インターフェース	5
8. 消費電力	6
9. 重 量	6
10. 取扱注意事項	6

タイミング リピータ

(TIMING REPEATER)

1. 概 要

モデルCMS5802 02 は、シングル幅両面シールドカバ付CAMACモジュールとして構成されたタイミングリピータです。モデルCMS5801 (Timing Master Generator) 及びモデルCMS 5803-01 (Timing Delay Module TD1) と組み合わせて用います。

本モジュールは、Timing Master Generator と Timing Delay Module TD1 の中間に接続して用い、Timing Master Generator から同軸ケーブルで送られ来るマンチェスターコードによる同期信号及びEVENT信号を本モジュールで、一度受信した後、波形整形して、バスライン ACN, ACL 間に送出すると同時に MAIN 及び、SUB 出力より、コネクタを經由して出力します。

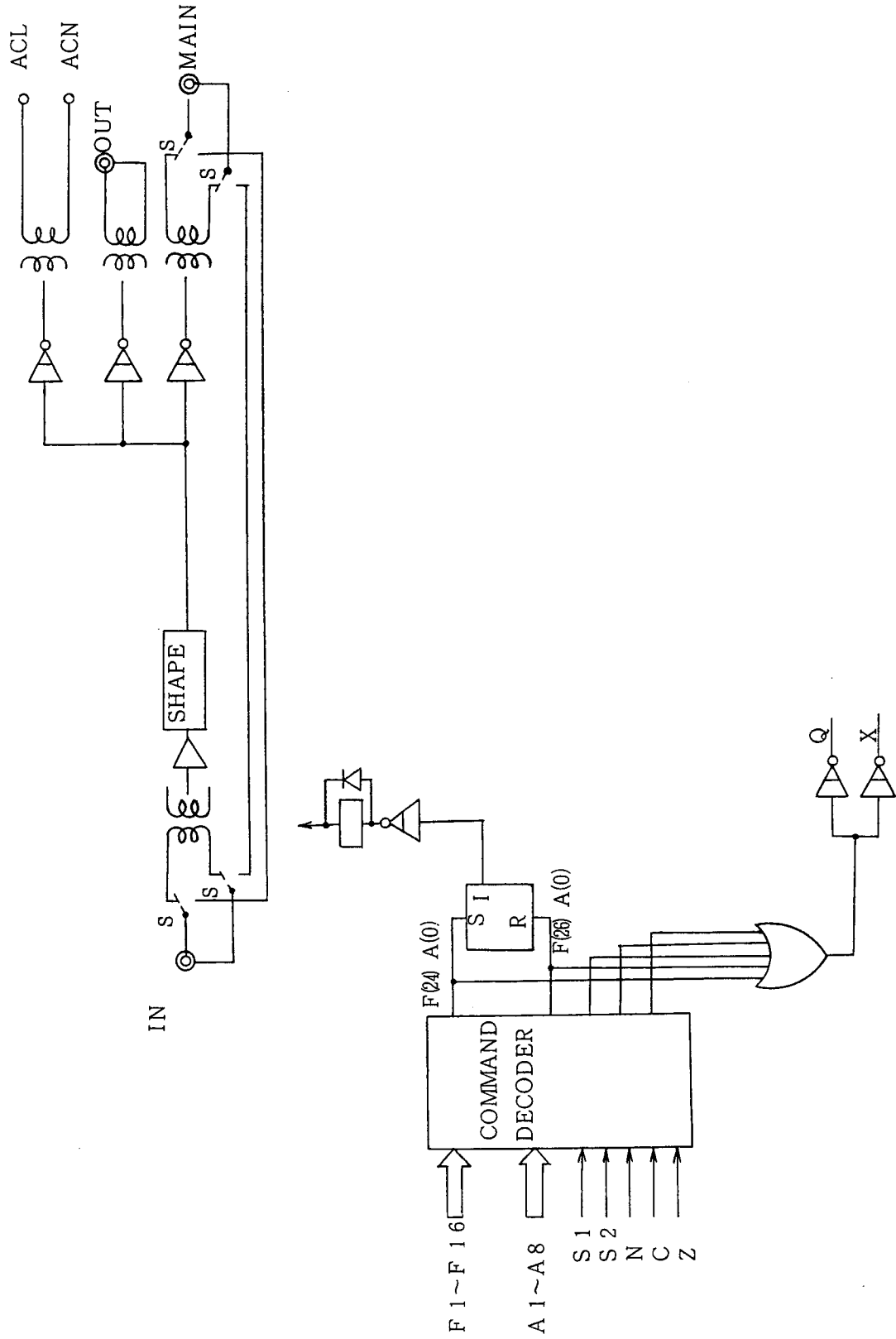
ACN, ACL 間の信号は、Timing Delay Module TD1 で使用します。

2. 構 成

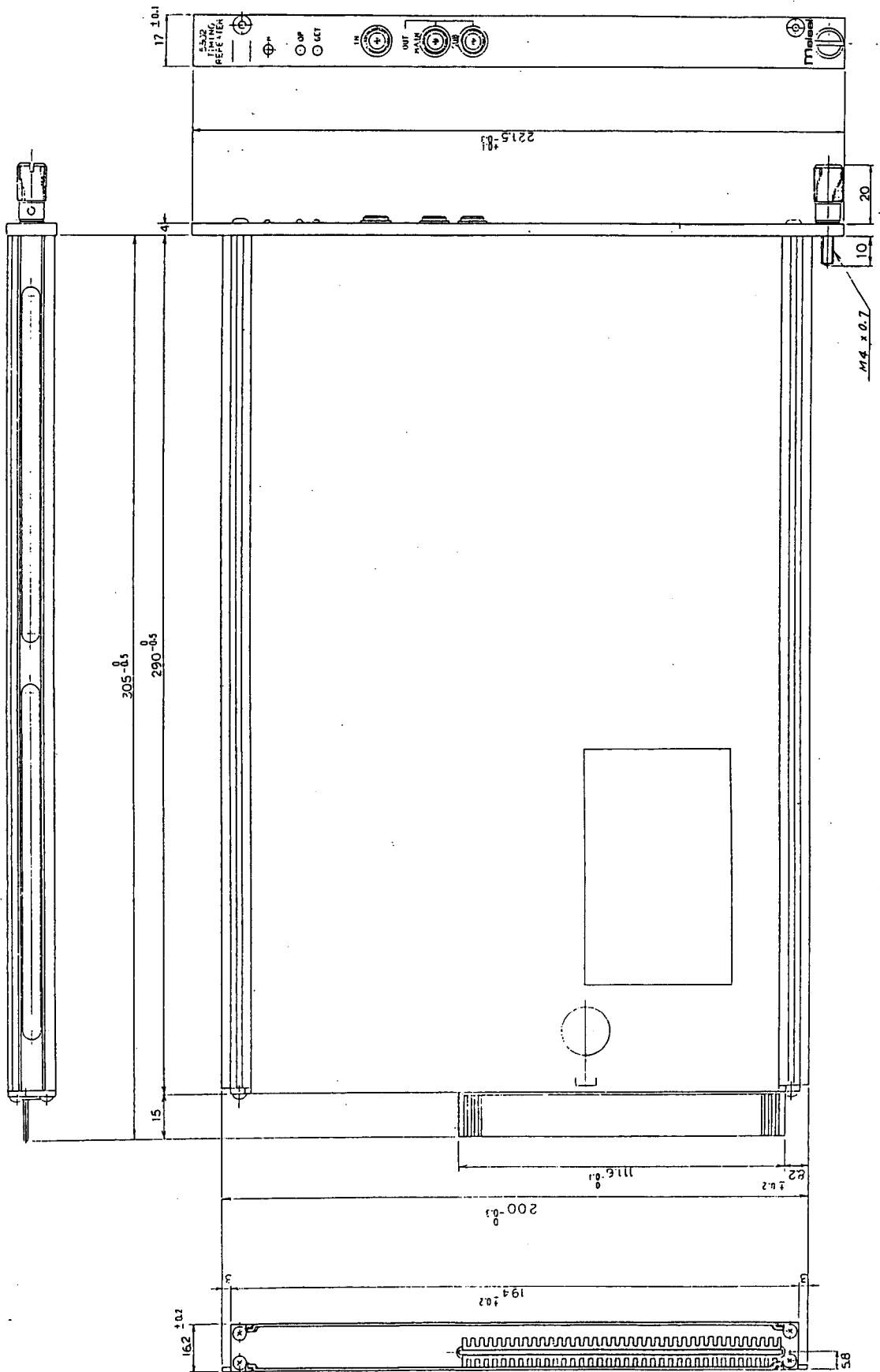
本モジュールの構成は、次のとおりです。

- | | |
|----------------------|-----|
| (1) 本体 (CMS 5802-01) | 1 式 |
| (2) 納入ケース | 1 式 |
| (3) 付属品 | |
| ① データウェイコンタクト保護カバー | 1 式 |
| (本体に実装してあります) | |
| ② シールドカバー | 2 個 |
| (本体に実装してあります) | |
| ③ ステーションナンバーシール | 1 組 |
| (1~25 各 1 枚) | |
| (4) 検査成績書 | 1 部 |
| (5) 取扱説明書 | 1 部 |

3. 系統圖



4. 外観図



5. ファンクションコード

(1) F(24) A(0) Bypass

入力されたマンチェスターコードにする同期、EVENT信号を本モジュール内で波形整形を行わず、そのまま MAIN コネクタに送出します。

(2) F(26) A(0) Operation

入力された同期、EVENT信号を本モジュールで波形整形して MAIN コネクタより送出します。

6. 動作説明

6-1 POWER ON

POWER ON の時、約 1 秒間各レジスタ、LAM マスク、マンチェスターコードデコーダを初期リセットし、信号の径路を“Operation”の状態にします。

6-2 入力

(1) IN

このコネクタに Timing Master Generator からの信号を入力します。入力インピーダンス 50Ω トランス結合。

6-3 出力

(1) MAIN

入力した信号を波形整形して再び出力しますが、CAMAC 命令により [F(24) A(0)] 入力信号を、そのまま出力させる事が出来ます。(Bypass)

(2) SUB

MAIN 出力と同じ出力ですが Bypass の状態は有りません。

6-4 表示

(1) N

クレートコントローラーより本モジュールが選択された時、約 1 秒間点灯となります。1 秒以内に連続して選択された場合は連続点灯となります。

(2) OP

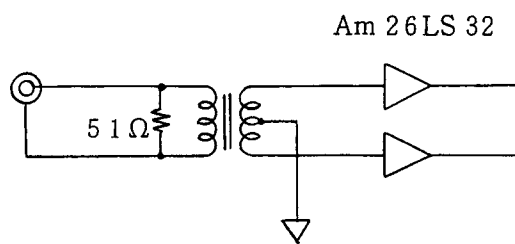
入力信号を本モジュールで波形整形して再び出力している状態 (Operation) の時点
灯します。

(3) GET

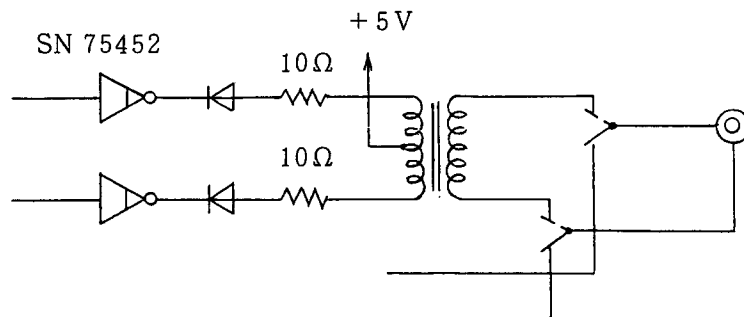
入力信号が正常に入力されている場合表示します。

7. インターフェース

(1) IN



(2) OUT MAIN



(3) OUT SUB

MAINと同じ (切替機能なし)

8. 消費電力

+6V: 0.5A

+24V: 0.02A

9. 重量

0.5 kg

10. 取扱注意事項

- (1) 本モジュールの動作温度範囲は 10°C ～ $+45^{\circ}\text{C}$ で保存温度は 0°C ～ $+55^{\circ}\text{C}$ となっており、この範囲外での使用又は保存に注意して下さい。
- (2) 本モジュールの動作電圧範囲は $+6\text{V} \pm 2.5\%$ となっており、クレート電源電圧が（実動作状態で）規格内であることを確認して使用して下さい。
- (3) 壁に水滴が付着するような高湿度中では信頼性を低下させますので使用しないで下さい。